

第1学年1組 学級活動指導案

場 所：1年1組（29名）

指導者 野口 百合子

伝え合う力との関連	一人一役の仕事から問題点を見つけ議題設定することで、集団の一員として話し合おうとする態度を育成する。
-----------	--

1 議題 「じぶんたちのがっきゅうのかかりをきめよう」 活動内容（1）

2 議題決定までの背景と経過

(1) 児童の実態

入学式後、地区児童会、歯科検診、心臓検診、親子交通安全教室、1年生を迎える会、避難訓練、身体測定と、初めての学校行事を次々に行い、緊張した日々を過ごした。2週目からは、給食の配膳を自分たちで行い、できるだけ残さないように食べて、片付けもしている。教室掃除も始まった。大きくなって何でも先生と一緒に一生懸命がんばるぞという意気込みの子どもたちは、できる仕事も見付け始めた。まず、「さあ、連絡帳を忘れずに出したかな。みんなで数えるよ。」と声をそろえて毎日数を唱えていると、「一人で数えれば早いんじゃない。」「あら、ありがとう。よく気付いてくれましたね。一人で数えた方が速くてまちがえないね。」から連絡帳数え係ができ、連絡帳配り、電気係と自分でできることを一人一役でどんどん見付け始まった。一週間が過ぎ、黒板係を「ぼくもやってみよう」という子が出たり、本係は一人では大変になったりと、困った事が起きてきた。「もっと増やした方がいいんじゃない。」「でも、人がいないよ。」と自分の思いをつぶやく姿が見られるようになってきた。

(2) 議題決定までの経過

朝の会や帰りの会では、日直がまだ一回りしていないので緊張していて進め方に気持ちがいき、なかなか一人一人の思いが出にくい。そこで、つぶやいたことをできるだけ書き留め掲示しておくことで、一人一人の思いを残したり、考えを深められるように一緒に遊んだ2年生に係の仕事の内容ややり方を聞いたりした。学級の目標を、なかよし会で子ども達、お家の人、教師の願いを結集して設定するという話し合いを経験したところで、「係のお仕事も困ったことをみんなで相談して決められるね。」というつぶやきがあり、教師が帰りの会でそれを紹介し本議題が決定した。

(3) 指導にあたって

計画委員会では、話し合いの内容より、「すすめやく」は2人で仲良く相談してみんなを指名する、文字がまだきちんと言えないので、「こくばんきろく」は教師が書いたものを貼ったり動かしたりする、「ノートきろく」は教師が書いたものを黒板記録に渡すなど仕事の確認をした。また、朝の「おはようタイム」などでは、「日直当番」「掃除当番」「給食当番」は誰もが協力して忘れずにやることなので、仕事をしっかり覚えて協力することが大切であること、一回りしたら再度相談することを、しっかり確認した。

学級の目標実現に向けて、係の仕事で困ったことは自分たちと先生が協力し、話し合いをして決めたり変えたりしていけるという体験をすることで、児童一人一人の生活上の問題意識を高め、学級の一員としての役割や学級に貢献し、仲良く助け合う喜びを感じられるようにしていきたい。

3 活動の流れと指導助言・評価規準

	活動内容	時間	指導助言	評価規準
話し合いの準備	役割分担・議題選定 議題決定 (教師と全員)	4 / 3 0 朝の会	学級の困ったことは、教師が解決するだけでなく、なかよし会でみんなが考えを出し、相談してきめていくことができることを指導する。	教師とともに、学級生活の中から係活動の問題を見つけ、思っていることはなかよし会で意見として発表することができるのが分かる。
	内容の検討(教師) 内容の決定(全員) 自分の意見をまとめる。(教師と全員)	5 / 2 朝の会	第1回の話し合いをもとに、話し合う内容や順序、仕事を振り返り、司会当番や話し合いの進め方、準備することなどが分かるよう指導する。	第1回の話し合いの経験を生かし、話し合う内容や順序、司会当番の仕事などが分かり、計画案にそった自分の考えがもてる。
話し合い	「じぶんたちのがっきゅうのかかりをきめよう」	5 / 8 (本時)	本時の活動に記述	
実践	実施 (全員)	5 / 9 ~	全員が決まった仕事をやり、仲良く楽しく活動できるように見守るとともに、一人一人が自信がもてるように声をかけて認めていく。	自分の仕事をしながら、協力することで「自分も友だちも」楽しい活動ができる楽しさや便利さを感じる。
振り返り	活動を振り返り、 生かす (全員)	5 / 1 6 おはよう タイム	よりよい係活動になるよう、活動を振り返る時間を保障する。学級の一員としての役割を果たすという意識をはぐくむため、一人一人のがんばりにみんなで目を向け、認めていきたい。	係活動を振り返り、互いのよさやがんばりを見つけていることができる。 学級のいろいろな仕事に興味や関心をもち、できることはやろうとする活動への意欲をもつ。

4 本時の指導

(1) ねらい

見付けた仕事のよいところや困っていることを出し合いながら、自分もみんなも学級のために仲良く楽しく活動できる係になるよう話し合う。

だい2かい ねん / くみ		なかよしかいのけいかく		5 がつ 8 にち (もく)	
ぎ だ い		じぶんたちの がっきゅうの かかりを きめよう			
ぎだいをだしたひと					
ていあんりゆう		こくばんがかりは、ひとりじゃたいへんだし、みんなもやりたがっているので そうだんしたいです。			
やくわり	すすめやく	せんせい	こくばん きろく		ノート きろく
はなしあいかつどうの けいかく		きをつけること			
1	はじめのことば	はっきり おおきなこえて いう。			
2	うた	「こうか」を げんきよく うたう。			
3	しかい グループ のしょうかい	ひとりずつ はっきりいう。			
4	きょうのぎだい	おおきなこえて ゆっくりという。			
5	ぎだいをだしたわけ	みんなに わけが わかるように ゆっくりはなす。			
6	きまっていること	せんせいに おねがいする。			
7	めあて	じぶんもよくて、みんなもよいかかりのしごとをかんがえる。 さいごまで きいて、いけんを はっきりいう。			
8	はなしあい ＜はなしあうこと1＞ ・しごとの かんがえを だしあう。(10分)	・さいごまで だまってきいてから つぎのひとを さす。 ・いろいろな ひとを さすように する。	【 みんなのかんがえ 】 ・もっと、ほかの しごとも やりたい。 ・ともだちと いっしょに やりたい。 ・ひとりでは、たいへんだ。 ・しごとが あまりない。		
	＜はなしあうこと2＞ ・こまったことを そうだんする。(20分)	・なぜ こまっているのか、わけを はなして もらうようにする。 ・じぶんもよくて、みんなもよい ほうほうを かんがえるようにする。	・かかりを いっしょに する。 ・にっちよくが やる。 ・2ねんせいみたいにきゅうしよくのほんを つかって しごとをする。		
	＜はなしあうこと3＞ ・かかりごとに、 しごとを たしかめる。(5分)	・なかよく すはやくできるように やくそくことを きめるようにする。			
9	きまったこと	おおきなこえて わかるように いう。			
10	ふりかえり	はっぴょうして もらう。			
11	せんせいの はなし	せんせいに おねがいする。			
12	おわりのことば	はっきり おおきなこえて いう。			

(2) 活動計画

(3) 指導助言

- ・係の仕事をして、よかったことや困ったことを事前に考えさせ、係カードに書いておく。
- ・話し合いが順序よく活発に進められるように、進め役に加わり、一緒に司会や記録をする。

(4) 評価規準

- ・自分も友だちも仲良く楽しく活動できるような自分の考えを発表しようとしている。(関心・意欲・態度)
- ・友だちの考えを最後まで聞くことができる。(表現・技能)